

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業（株）淀川製作所  
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

### 2015 中小企業委員会・同 WG 合同委員会開催

#### 「ダイバーシティへの取り組み」梶本会長講話

毎年7月に開催される「中小企業委員会」では、下部組織の「中小企業WG」と合同で、当会会長による講話会を開催しています。本年は7月8日（水）の午後、会員企業の川崎重工業（株）の肥田精密機械カンパニープレジデント殿のご厚意により、同社の「西神戸工場」の見学会と同社の会議室を借用して会議を開催しました。当日は、12:30 に山陽本線「西明石駅」に集合し、バスで西神戸工場へ向かいました。会議は13:20 頃から開催され、初めに梶本会長から『ダイバーシティへの取り組み』と題して、ご自身の考え方や経験をベースにした大変興味深いご講話を頂き、質疑応答を行い終了しました。さらに15:00～17:00



講和する梶本会長

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

2015 中小企業委員会開催・・・・・・・・・・1	中小企業関連事業・・・・・・・・・・5
委員会開催・活動状況	PL 対策事業・・・・・・・・・・5
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・・・3	会員ニュース・・・・・・・・・・6
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・4	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・6
技術調査事業・・・・・・・・・・5	統計資料・・・・・・・・・・9

(一社) 日本フルードパワー工業会  
URL : <http://www.jfpa.biz/>

頃までの間「西神戸工場」の工場見学と質疑応答を行いました。その後場所を移してお世話になった川崎重工業（株）の関係者を加えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。以下に講話の要旨を掲載します。

「ある日、社内からダイバーシティという言葉が聞こえてきました。しかし私はその言葉の意味を知らず、東京のお台場辺りから生まれた新しい文化、考え方かなと勝手に思い込んでいました。後々、それが「多様性」を意味する言葉だと分かったのです。

2008年に私が社長になったおりに、会社の中で弱い立場の人たちにも手を差し伸べようと考え、女性、シニア、そして障害者の方々に陽を当てることにしました。

日本の国は、女性はこうあるべきだという固定概念を昔から持っている国だと思います。たとえば、おとぎ話の桃太郎には、お爺さんは山に芝刈りに、お婆さんは川に洗濯にというくだけがあります。小さな頃からおとぎ話を通じて、女性の役割りを教えられているのです。当社もご多分に漏れず、女性の役割りは限定されていました。次にシニアについてですが、当社では55歳になると役職定年になっていました。まだ元気で能力もあるのに、ラインから外れてしまうのです。私もだんだんとその年齢に近づき、何かおかしいぞと感じるようになっていました。そして障害者の方々については、多少のハンディをお持ちでした。

以上のように、女性、シニア、障害者それぞれが異なった理由により、社内で弱い立場だったと言えます。

それでは、最初に女性についてお話しします。当社の国内社員の三分の一が女性であり、多くの女性社員にもっと活躍をしてもらうために「女性活躍推進委員会」を立ち上げました。その委員会で最初に実施したのは、他社の制度を調べ当社と比較して、不十分な制度について見直すことからでした。

育児休暇や時短制度など徐々に制度が充実される中、今度は女性社員を対象にした講和会を開催し、社長としての想いを語りました。この講和会には4年間で計8回、約200名の女性社員が参加しました。講和会では、なぜ女性に活躍して欲しいかを中心に説明しました。まず、男女の能力差が無いこと、多様化した社会への対応が必要なこと、女性特有な力があること、女性が活躍している好業績な会社が多いことなどを挙げました。会社の期待を言葉に表し、しっかりと伝えました。

次に、目標が無かった毎年の新入社員の女性採用比率を30%としました。また、隣の会社をお願いをして、会社の託児所に当社の枠を作ってもらいました。現在では4名がお世話になっています。

その他、手当てについても見直しをするなど、形としての改善や女性のモチベーションアップについては大きく前進しました。ところが上司を含めて職場の理解が進んでいない等、新たな課題も見えてきました。そこで昨年からは、管理職に対しても教育、指導を始めています。

当社には、残念ながらまだ女性の管理職はいません。2020年までには、女性の管理職比率を5%まで持っていきたいと考えています。今、優秀な人材がどんどん育ってきていますので、将来が非常に楽しみです。

続いて、シニアについてです。当社ではシニアの方々を対象に、2001年から再雇用制度を設け、給料は減りますが定年後も働いてもらっています。ただ、あまりに給料が下がりすぎるために、定年後に別の会社に就職されるシニアがいることがわかりました。

そこで、考えたのが生涯現役制度です。この生涯現役制度では、給料のみならず、福利厚生も見直しました。健康保険や社宅の借り上げなども行わない、能力の高い人には手当てを厚くするというシニアアドバイザー制度も設けました。シニアには再雇用制度か生涯現役制度どちらかを選んでいただき、定年後も働いてもらえるよう、会社として努力しています。

弱者というより少数ということになりますが、当社では外国人も弱者に当てはまります。当社はグローバル化が大きく遅れていましたが、2011年からようやく留学生を日本人と同じ条件で採用し始め、頑張ればアドバンテージを持って、海外で働いてもらうことにしました。まだ非常に少ない人数ですが、高い能力の持ち主がたくさんいます。また、外国人の実習制度も実施しており、少しでも異文化や現場を体験できるということで、定着率も高く非常に好評です。無事実習期間を終え、帰国をされる時には泣きながらお別れをする光景も多く見られます。

障害者の方については、2%の法定雇用率以上を目指すとともに、働く環境作りの改善を進めております。

つい最近女性4人、シニア4人の方とそれぞれ話す機会を持ちました。そこで、出てきた話を紹介します。

女性からは、「育児休暇を取らせてもらっています。ありがとうございます。ただ、半年ぐらいうると不安になってきます。なにか、置いてきぼりにされている気持ちになります。半年もすると子供の育児にも慣れてくるので、できたら家でちょとした仕事をやりたいです。」という声がありました。それから、「もっともっとフレキシブルに時間を活用させて欲しいし、そのようなことができる環境を考えてほしい」という要望も出ました。当社は社内結婚が多いのですが、女性ばか

りが制度を有効に使っているため、男性もこういう制度を使っても良いのではと思いました。また、2人、3人と子供を作ると、他の人に多くの負担を掛けてしまうので、休みを取りづらいという意見も出ました。やはり、女性が休んでも当たり前のような職場の雰囲気を変えていかないといけないと思っています。

それからシニアですが、定年後のモチベーションの維持が大切なことがわかりました。シニアでも「新しい仕事を任されるともう一度勉強してみようという意欲が湧いてくる。」と言われました。また、こんな意見も出ました。「シニアも評価したほうが良いと。これはやる気のある方の意見ですよ。最後に当然ですが、手当ても上げて欲しい」と言われました。

時間の関係でまとめをしたいと思います。先日、取引先の社長さんとお話しをした時に「最近、安倍総理も女性の活用を進めているので、当社でもやっていますよ。」と言ったところ、「うちのよう小さな小さな会社には、女性なんて来てくれないですよ。だからそんなこと言っても無理です。」と言われてしまいました。私は取引先の方でもあるので何も言いませんでしたが、女性やシニアの方たちに活躍してもらうのは、新しく入ってくる方々を対象にするだけでなく、まずは今会社にいる人たちにどう働いてもらうかということがあるわけです。この人たちが、「仕事の効率を今より20%も30%も上げてもらえれば、会社にとって大きくプラスになるし、そこをやらなないといけないのではないですか」と本当はその社長に言いたかったのです。

日本は資源の少ない国です。資源のある国とグローバルに競い合うには非常に厳しく、メカは技術力や品質がキーになってきます。そしてそれを支えるのは、人材だと思います。人の質を上げていくことで、最終的に日本が世界に伍していけるのではないかと考えています。さらには少子高齢化という大きな問題を抱える中、ダイバーシティをより進めていくべきだし、女性にもさらに力を発揮してもらえば、会社もより良くなると思っています。これらの環境を作るには国にだけ頼るのではなく、各企業ができることからやることが求められるし、それが日本の強さにつながると思います。

最初は弱い立場の人たちを救おうと始めたことが、ダイバーシティを強化することになりました。これからも、継続して取り組んでゆきたいと考えております。皆さんのご参考にしていただければと思い、お話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございます。」

なお、当会機関誌「フルードパワー」の11月号に講話の全文を掲載します。

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については後段で報告します)

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～  
標準化事業／ISO 対策事業  
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

油空圧シール分科会

日時 7月3日(金) 13:30～16:50

場所 機械振興会館 B3-3 会議室

出席者 川口主査以下13名

事務局 千葉

議事

川口主査の議事進行により前回議事録及び配付資料確認を行った。今回は、ISO/TC131/SC7/WG3 において問題となっている表面性状(Rmr)について解説してもらうために(株)ミツトヨにお願いして「表面粗さ測定機による摺動面の評価」と題するご講演をお願いした。内容的には表面粗さの基礎から負荷曲線に渡って非常に分かり易いものであった。

続いて、ISO 関連の審議として、投票に掛かっている定期見直し4件について審議した。ISO3601-3 及び ISO5597 はコメントあり、他の2件はコメントなしで投票することにした。

ISO 沖縄会議報告及び技術標準化委員会報告を行った後、JIS B 8395 の見直しに関する経済産業省のヒアリングの概要説明を行い、前回審議からの変更点を説明した。

JFPS 1017 の審議については次回に行う。

次回開催：9月18日(金)機振会館 会議室

シリンダ分科会

日時 7月10日(金) 13:30～16:00

場所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 榎本主査以下8名

事務局 千葉

議事

今回より、主査は甲南電機の榎本主査となる。

前回議事録確認後、ISO 関連として、5月に開催されたISO 沖縄国際会議についてシリンダに関連する会議報告が東川委員からあった。

JIS 関連として、平成26年度4月に応募したJIS B 8366-5 の規格審査状況について報告があった。現在、この規格は日本規格協会規格調整分科会の書面審議を終了し経済産業省への答申待ちの状況である。

旧工業会規格 JOHS 110 は JFPS 1022 として規定内容は変更せず、単位、用語などの見直しを進める。油圧ジャッキに関する JOHS 124 は JFPS

1024, JOHS 125 は JFPS 1025 として見直し案の検討に入った。

続いて、投票に掛かっている ISO/FDIS 19973-3, ISO 6099, ISO/NP 15552, ISO 6430 について審議し、ISO/FDIS19973-3 はコメントあり、他の 3 件はコメントなしで賛成投票することにした。次回開催：9 月 25 日(金) 機振会館 5S-4 会議室

流量測定分科会

日 時 7 月 17 日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 妹尾主査以下 8 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、妹尾主査より、ISO 6358-1 流量特性試験方法の JIS 原案作成進捗状況について報告があった。6 月 8 日に JIS 原案作成本委員会が開催され、指摘事項を踏まえ修正後規格協会に提出、現在規格協会委員による書面審議中である。

次年度に制定を行う予定の ISO 6358-2 流量特性試験方法の代替試験方法の JIS 原案作成の作業分担を行った。

続いて、5 月 18 日に開催した ISO 沖縄会議の SC5/WG3 分科会の報告がされた。

米国のバーニンガーが提案した新附属書バルブのエネルギー効率に対して、主査からエネルギー効率の疑問点の提出資料と香川先生からのエクセルギの説明を行った。バーニンガーには、十分理解してもらえていないのでその対応について協議した。眞田先生よりエクセルギの損失の大きさに疑問を持っているので、圧縮機の出力と電磁弁でのエクセルギの損失を示せば、理解されるのではないと提案があった。この提案に従い、意見書を香川先生が作成する。

次回開催：9 月 16 日(水)機振会館 1-3 会議室

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

ISO/DIS 18852-1 Fluid power -- Specification of reference dictionary -- Part 1: General overview on organization and structure

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 10771-1:2015 Hydraulic fluid power -- Fatigue pressure testing of metal pressure-containing envelopes -- Part 1: Test method

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

空気圧システム分科会

日 時 7 月 31 日(金) 13:00 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 張主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、改訂版リスク低減に関するガイドブック (JIS B 8370:2013 準拠) 案について継続審議した。

次回開催：9 月 15 日(火) 機振会館 6S-2 会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 513 回特許分科会

日 時 7 月 31 日(金) 13:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 佐藤幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、1 件については新たな証拠の提出がなかったため前回提出された見解書をもって終了とした。他の 2 件については、引き続き審議・調査を行うこととした。また新規案件が提出された。

次回開催：8 月 28 日(金) 名古屋国際センター 第 6 会議室

~~~~~

広報・PR 事業

~~~~~

第 1 回 60 周年記念式典実行委員会

日 時 7 月 10 日(金) 15:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 齋藤委員長以下 8 名

事務局 藤原、鎌原、大橋

議 事

事務局より実行委員会の主旨説明の後、齋藤委員長の司会のもと議事に入った。

前回の準備委員会で議論した記念事業案のうち、「フルードパワーの世界」のデジタルブック化については「デジタルブック作成委員会」を設け、機関誌記念号の発刊時期に併せて制作するこ

ととした。また、機関誌誌上座談会は機関誌記念号掲載に掲載することを前提にテーマ案の意見交換後、改めて実行委員に対するアンケートによりテーマとメンバーを募ることとした。

シンポジウムは実施せず、代わりに記念講演会を式典内で行う。講演会のテーマと講演者は、機関誌誌上座談会同様、至急に実行委員より募る。さらに大臣表彰者が決まれば、講演会終了後、授与式を行って、式典を締めくくることとした。

なお、審議に先立ち、デジタルブックの作成について経験のある(株)コンテックスより画像例と機能説明を受けた。

次回開催：9月4日(金) 油研工業(東京)会議室

～～～～～～～～  
中小企業関連事業  
～～～～～～～～

#### 第2回中小企業員会・WG 合同会議

中小企業委員会及び同 WG では、今回初めて関西地区での開催を企画し、中小企業委員会に属さない関西地区の中小企業の皆様方や次世代の会の皆様方にもご参加いただき「拡大中小企業委員会」と称し開催しました。

日時 7月8日(水) 12:00～19:00

場所 川崎重工業(株)西神戸工場

出席者 十万委員長以下 29名

事務局 藤原、堀江、

#### 議事

1. 梶本会長講話 …… (1～3頁参照)
2. 経済産業省製造産業局産業機械課根津課長補佐より国内外の建設機械、農業機械、工作機械産業等についての業況説明があった。
3. 出席各社の現況報告  
出席各社の景況感は、一部回復基調も見られるようであるが、特に中国の建機市場は依然として厳しい状況で推移している。業界全体では、総じて厳しい状況にあるとの声が多くあった。
4. 事務局からの報告  
内閣府、財務省の景況報告資料及びマイナンバー制度関連資料を配布した。  
WGの活動報告として、秋の研修訪問先の検討状況について報告した。
5. 川崎重工業(株)の肥田プレジデント及び山本企画本部長より西神戸工場の概要説明の後、油機製造工場及びロボットデモンストラクション展示室を見学した。その後 場所を移しお世話になった川崎重工業(株)の関係者も加えて懇親会を開催しました。

～～～～～～～～  
PL 対策事業  
～～～～～～～～

#### PL 講演会の開催

日時 7月13日(月)

場所 機械振興会館 6D-4 会議室

出席者 澤田委員長以下 16名

事務局 藤原、堀江

#### 議事

PL 委員会ではグローバル化の進展により海外進出が加速するなか、世界最大手の外資系保険ブローカーであるエーオンの日本法人、エーオンジャパン(株)山本達也社長より「今後、日本企業のとるべきリスクマネジメントとは」のテーマで、またスペシャリティ部の田麿泰郎様より「製造業 E&O 保険 (Manufacturer's Errors & Omissions) について」のテーマで講演会を開催しました。



講師：エーオンジャパン・山本社長

～～～～～～～～  
会員ニュース  
～～～～～～～～

#### ☆本社の移転

(正会員)

廣瀬バルブ工業(株)から本社を移転するとの連絡がありましたのでお知らせします。

廣瀬バルブ工業株式会社

移転先

〒522-0033

滋賀県彦根市芹川町 436

電話番号：0749-23-2020

FAX 番号：0749-23-2027

業務開始日

平成 27 年 10 月 1 日(木)

なお、現本社工場は「安清工場」として引き

続き営業するとのことです。

☆事業部長の交代

(正会員)

(株) 島津製作所から事業部長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

株式会社島津製作所

平成 27 年 6 月 26 日付

(新 任)

常務執行役員フルイデイクス事業部長

徳増 安則

なお、前任の上席執行役員フルイデイクス事業部長岩崎正弘氏は、島津プレシジョンテクノロジー (株) 代表取締役社長に就任しました。

☆担当役員の交代

(正会員)

ダイキン工業 (株) から担当役員の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

ダイキン工業株式会社

平成 27 年 6 月 26 日付

(新 任)

専任役員油機事業担当

村井 哲

なお、前任の常務執行役員油機事業担当の吉岡敬男氏は、ダイキン工業 (株) 顧問に就任しました。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

\*平成 27 年

☆9 月 14 日 (月) 第 22 回政策委員会

(場 所) 当会会議室

☆11 月 5 日 (木) 西日本支部総会及び

第 75 回理事会

(場 所) 琵琶湖ホテル

☆11 月 6 日 (金) 西日本支部合同懇親ゴルフ会

(場 所) ジャパンエースゴルフ倶楽部

☆12 月 15 日 (火) 第 23 回政策委員会

(場 所) 当会会議室

\*平成 28 年

☆1 月 14 日 (木) 年始会及び第 76 回理事会

(場 所) 東京プリンスホテル

~~~~~

7 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO 対策事業)

油空圧シール分科会

開催日 7 月 3 日 (金)

出席者

主 査 川口 葵 (阪上製作所)

委 員 小畑博美 (JFPA)

// 南 暢 (日本バルカー工業)

// 中尾雅司 (NOK)

// 國廣洋一 (NOK)

// 方波見栄次 (荒井製作所)

// 保科俊明 (SMC)

// 深町哲也 (CKD)

// 太田正貴 (阪上製作所)

// 木挽一彦 (三菱電線工業)

// 茨木満雄 (ニューエラー)

特 北原 純 (ミツトヨ)

特 栗田英生 (ミツトヨ)

シリンダ分科会

開催日 7 月 10 日 (金)

出席者

主 査 樫本晴夫 (甲南電機)

委 員 東川智信 (TAIYO)

// 水上秀彦 (クロダニューマティクス)

// 東中竜一 (豊和工業)

// 梅田大輔 (大阪ジャッキ製作所)

// 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

// 須田浩之 (コガネイ)

// 渋谷修一 (SMC)

流量測定分科会

開催日 7 月 17 日 (金)

出席者

主 査 妹尾 満 (SMC)

委 員 高橋浩爾 (上智大学)

// 香川利春 (東京工業大学)

// 眞田一志 (横浜国立大学)

// 張 護平 (SMC)

// 長井敏和 (CKD)

// 齊藤 悠 (コガネイ)

// 若原洋行 (TAIYO)

(標準化事業/規格事業)

空気圧システム分科会

開催日 7 月 31 日 (金)

出席者  
主 査 張 護平 (SMC)  
委 員 増尾秀三 (CKD)  
〃 神戸孝典 (甲南電機)  
〃 田中和彦 (TAIYO)  
〃 加藤猛美 (コガネイ)  
〃 酒巻由佳 (アズビル TACO)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第 513 回特許分科会  
開催日 7 月 31 日 (金)  
出席者  
幹 事 佐藤 浩 (コガネイ)  
委 員 井野雅康 (SMC)  
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
〃 赤松直人 (甲南電機)

(広報・PR 関連事業)

第 1 回 60 周年記念式典実行委員会  
開催日 7 月 10 日 (金)  
出席者  
委員長 齋藤圭介 (KYB)  
委 員 国保雅文 (CKD)  
〃 水 悟史 (川崎重工業)  
〃 川崎久士 (コガネイ)  
〃 寺田 稔 (ダイキン工業)  
〃 阿部康雄 (東京計器)  
〃 大場孝一 (油研工業)  
〃 十万幹雄 (神威産業)  
オブザーバー 近藤千奈美 (コンテックス)  
オブザーバー 前田兼高 (コンテックス)

(中小企業関連事業)

第 2 回中小企業委員会・WG 合同委員会  
開催日 7 月 8 日 (水)  
出席者  
委員長 十万幹雄 (神威産業)  
副委員長 松井正彦 (マツイ)  
委 員 相原伸展 (大阪ジャッキ製作所)  
〃 村松裕行 (大阪ジャッキ製作所)  
〃 花岡隆司 (神威産業)  
〃 高野和治 (光陽精機)  
〃 向 泰男 (大生工業)  
〃 廣井正夫 (大生工業)  
〃 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)  
次世代の委員 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)  
代 理 飯原直樹 (タイヨーインタナショナル)  
委 員 松岡 勉 (タカコ)  
〃 野村伯英 (南武)  
〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)

代 理 杉村 類 (日本アキュムレータ)  
委 員 永島実也 (日本オイルポンプ)  
〃 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)  
〃 廣瀬一輝 (廣瀬バルブ工業)  
〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)  
代 理 石谷 敦 (堀内機械)  
〃 大西賢二 (増田製作所)  
〃 大島 淳 (増田製作所)  
委 員 松井源太郎 (マツイ)  
代 理 川本 晃 (マツイ)  
委 員 木下純夫 (三尾製作所)  
〃 保坂淳一 (理研精機)  
関西中小 戸田安紀 (ヨコタ工業)  
委 員 中嶋 匡 (経済産業省)  
コーディネーター 根津正志 (経済産業省)

(PL 対策事業)

PL 関連講演会  
開催日 7 月 13 日 (月)  
委員長 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)  
参加者 甲山登紀夫 (CKD)  
〃 仙田雅晃 (廣瀬バルブ工業)  
〃 吉田順一 (ヤマシンフィルタ)  
〃 加々美裕 (ヤマシンフィルタ)  
〃 新木 徹 (大生工業)  
〃 土井高司 (コガネイ)  
〃 佐々木篤志 (コガネイ)  
〃 計 俊傑 (東京計器)  
〃 鐘ヶ江拓二 (東京計器)  
〃 西田昌弘 (三菱電線工業)  
〃 湯澤廣吉 (日本工作機器工業会)  
〃 小菅文雄 (日本産業機械工業会)  
〃 藤谷秀次 (日本フルード・パワーシステム学会)  
〃 中嶋 匡 (経済産業省)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<7 月>

3 日 (金)  
・ ISO (委) 油空圧シール分科会  
8 日 (水)  
・ 中小企業 (委) 中小企業・同 WG 合同委員会  
・ 標準化 (委) 油圧バルブ分科会  
10 日 (金)  
・ 編集 (委) 60 周年記念事業推進委員会  
・ 標準化 (委) シリンダ分科会  
13 日 (月)  
・ PL 対策 (委) PL 委員会講演会

17日（金）

- ・標準化（委）流量測定分科会

31日（金）

- ・技術（委）空気圧部会第513回特許分科会
- ・標準化（委）空気圧システム分科会

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ